

# 一般会計など各会計補正予算5件を可決

今回の一般会計補正予算(第4号)は、▽ラグビーワールドカップの公認キャンプ地誘致のため、海老名運動公園陸上競技場を公認キャンプ地仕様に改修する設計の実施▽小中学校の彫刻刀および中学校の柔道着を必要数備品化▽東柏ヶ谷小学校の給食調理業務の委託▽海老名駅北口整備のための用地買収▽海老名駅駅間に災害時の駅滞留者対策や障がい者などにも利用しやすいエレベーターの設置などの内容で上程されました。一般会計など3件の補正予算は、それぞれ所管の常任委員会に付託され、定例会第3日目12月13日の本会議で原案可決されました。各常任委員会での主な質疑は次のとおりです。

## 総務常任委員会

**問** ラグビーワールドカップ公認キャンプ地立候補に伴う運動公園陸上競技場改修内容の詳細と、キャンプ地決定までのスケジュールについて伺います。

**答** 大会組織委員会の審査を受け、その中で課題としていただいた天然芝部分の拡張や、高さが足りないゴールポストの改修、シャワー室の改修などです。

キャンプ地決定までのスケジュールについては平成29年12月から参加国の視察が行われ、その結果で海老名市を選んでもらえれば、順次決定していくという予定となっています。

**問** 戸籍住民基本台帳整備のための補正が組まれています。具体的な内容について伺います。

**答** 住民票やマイナンバーカードに旧姓、婚姻などの前の氏を併記できるようにするシステム改修となります。

**問** 消防分団施設維持管理経費の公有財産購入費の内容に



運動公園陸上競技場

ついて伺います。

**答** 上郷の第5分団器具置き場の老朽化に伴い、建て替えを計画しており、用地買収の費用を計上しています。

## 文教社会常任委員会

**問** 東柏ヶ谷小学校の給食調理業務について、直営から民間事業者に業務委託とした理由について伺います。

**答** 同校は、調理室の開設以降児童数が減少し、今後も減少が見込まれることから、民間の専門的な知識や技術を活用し、柔軟な勤務体系による業務効率の向上を図り、将来にわたって安定的に給食を供給したいと考えたためです。

**問** 介護保険事業特別会計の在宅医療・介護連携推進事業費と認知症総合支援事業費の減額理由について伺います。

**答** 在宅医療・介護連携推進事業については10月をめどに相談窓口の設置を予定していましたが、事業開始が数カ月ずれ込んだ関係で、まだ委託がなされておらず、執行額に残



東柏ヶ谷小学校

額が生じたためです。

認知症総合支援事業については、認知症対応のための専門チームの編成時期が当初予定していた10月から12月に延期となった関係で、事業費に残額が生じたためです。

## 経済建設常任委員会

**問** ふるさと納税関係事業費に関して、予算増額の詳細について伺います。

**答** 4月から9月までの寄附額が想定以上に好調であったことやその返礼品などの不足分、また、昨年の実績から繁忙期の12月を想定し増額したものです。

**意見** 今後も市のさまざまな政策を実施する手段としての役割を果たす制度であるので、正確に事務を進めていただきたい。

**問** 海老名駅自由通路関連施設改修事業費について、新設するエレベーターの仕様と障がい者などが利用するための停車場設置について伺います。

**答** 仕様は、20人乗り以上のもので、車椅子とストレッチャーも乗車可能なエレベーターを想定しております。また、停電時の稼働が可能で、大規模災害時にも活用でき、太陽光発電機などにより蓄電をし、電力の供給ができるような仕様で考えております。

停車場は、エレベーター近接箇所に数台とめられるよう設置する方向で計画しています。

**意見** 安全に留意して工事を行っていただきたい。

## 決議を可決

定例会最終日に、「厚木基地における年末年始の航空機の飛行中止を求める決議」が上程され、全員賛成により原案可決されました。

決議案では、本市は同基地を離着陸する航空機により、騒音被害や部品落下・墜落などの航空機事故への不安などに長年悩まされている状況の中、年末年始は平穏な生活を取り戻したいと切に願っており、年末年始の航空機の訓練飛行を行わないことについて求めました。